

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
産業・環境保健学演習	1 単位 3 0 時間 演習科目	博士前期 1 年次 通年開講	<input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	千葉 敦子		
担当者	千葉 敦子、大西 基喜、色川 俊也 (非常勤)、県庁職員 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 ねらい：産業・環境保健学特論の講義で学んだ基礎的知識をもとに、活動の実際を理解する 目標：1. 事業場の概要や労働特性、健康に関連する保健統計から、職場の健康課題を理解する 2. 事業場で進められている産業保健活動の概要を理解する 3. 職場巡視の実際が理解できる 4. 職場改善のためのアクションチェックが実施できる 5. 環境保全に関する調査研究の手法について理解する 6. 環境放射線等のモニタリングの仕組みとデータの見方を演習を通じて理解する			
2. 授業計画・内容 【産業保健】 色川俊也・千葉敦子, 10月25日(金) ①～⑥：企業に出向いて職場巡視を実施し、環境評価および作業者の作業負荷を評価する。 職場巡視の留意点, 企業の概要, 職場巡視, 衛生管理者を交えた振り返り 10月26日(土) ①②：職場改善のためのアクションチェック アクションチェックリストを用いて、巡視をした企業の職場環境を幅広い視点からとらえ、どのように改善すると、安全・健康に、快適で働きやすい職場なるか具体的な対策を話し合う 【環境保健】 県職員 11月2日(土) ③④⑤：環境保全に関する調査研究について、大気(PM2.5、酸性雨)や十和田湖の水質等の環境に関する調査・研究内容, 青森県環境保健センター施設見学, 水質検査, 騒音のデータ収集(環境保健センター) 県職員 11月9日(土) ③④⑤：「環境放射線等のモニタリング」の仕組みとデータ(グラフ)の見方について、「モニタリングつうしんあおもり」を用いた演習, 日本原燃による出前授業(原子力安全対策課)			
3. 教科書、参考書 毎回授業開始時に資料を配布する 参考書：・『労働衛生のしおり』, 中央労働災害防止協会 ・産業医の職務 Q&A 第10版 増補改訂版 公益財団法人産業医学振興財団 ・必携 産業保健看護学 - 基礎から応用・実践まで, 公益財団法人産業医学振興財団			
4. 成績評価方法 (1) レポートおよび課題 (70%) (2) 議論への参加 (30%) *各担当教員において課題が課される場合がある			
5. 受講要件 10月25日(金)の職場巡視に行くことが可能であること			
6. 社会人学生に対する配慮 各担当教員においてオンデマンド視聴を可能とする場合がある			
7. その他			